

# ストップ・ざ・がんの会だより

Vol. 17 2016. 8

発行：NPO法人ストップ・ざ・がんの会 (代) 762-3010

事務局：福岡市中央区天神2-13-7福岡平和ビル3階 (公財) 福岡県すこやか健康事業団内



## 第15回自主講演会を終えて

第15回の記念自主がん講演会を平成28年7月16日(土)13時30分～15時30分、福岡市市民福祉プラザ601号室で開催しました。開会挨拶を(公財)福岡県すこやか健康事業団理事長・会長の瓦林達比古先生にお願いし、寸劇「買い物編」をNPO法人ストップ・ざ・がんの会会員で上演。講演「防げる のどのがん」一咽頭癌、喉頭癌の原因・治療とその予防—を講師・九州大学大学院医学研究院・耳鼻咽喉科学教室 准教授中島寅彦先生に頂きました。閉会の挨拶を当会の理事長下田八須子が行いました。第15回の記念講演会のため、会場を収容人数が多い福岡市市民福祉プラザ601号室にしました。一般参加者117名。がんの会会員18名。講師2名。(公財)福岡県すこやか健康事業団・保健師1名。合計138名の参加を得ました。今回、初めて講演会で寸劇を上演することについて不安もありましたが、地域の出前講座で随時上演しているので、がん検診受診啓発活動状況を皆さんに知って頂きたい思いから上演しました。講演の中で寸劇の内容にたびたび触れて頂いたように皆さんにご理解頂けたようでした。

講演内容についてはアンケート回答者の88.8%の方が満足と答えています。質問も活発になされ先生も丁寧に回答されました。アンケートにも質疑応答状況を評価する意見が出ていました。ただ、今回は資料不足を招いたため、受付の際手間取ったことを次回の参考とします。

(田中)



質疑応答中の中島先生



## 平成28年度通常総会報告

平成28年5月17日(火)(公財)福岡県すこやか健康事業団学術研究センター会議室においてNPO法人化後第5回目の「通常総会」を開催しました。総会出席者は22名(委任状9名含む)で、定款第27条(定足数)の規定により正会員(29名)総数の3分の1以上の出席で総会成立要件を満たし開会しました。下田理事長は「会員の支えがあって総会を開催することができました。がん検診の受診者は増えない現状がありますが、そのことを見据えたうえ、私共は健康第一で向こう一年間更に頑張っていきたいと思います」と挨拶しました。

議案は「定款変更について」「平成27年度事業報告書」「同活動計算書報告」「同会計監査報告」

「平成28年度活動方針」「同事業計画書」「同活動計算書」が提案され各議案全会一致で承認されました。諸事情により欠席された正会員には、総会資料を郵送でお届けしました。向こう一年間どうぞよろしく願います。(高嶋)

## ～出前講座シリーズ～

福岡市内の公民館等に出向き、地域住民の方を対象にがん講座(90分程度)を実施しています。

### 6月2日(木)今宿公民館

午前10時から西区の今宿公民館で来館者23名を迎えて保健師池田晶子様から、「がん検診とがん予防に関する話」を1時間して頂きました。講話の前に15分間「ピンポン」と題したがん検診受診啓発の寸劇を行いました。アンケートの意見欄に「胃・大腸は毎年受診したほうがよいことが分かりました」。

「検診に行かない理由を明らかにした活動をしたらどうですか」などの提言も頂きました。西区保健所の保健師さんは約15分間、がん検診の受診方法やその予約方法などについて「検診ガイド」集の内容をもとに詳しく説明して頂きました。今回の出前講座は、今宿校区保健福祉部会の皆様方のお世話により実現しましたことを感謝申し上げます。



保健師池田晶子様の講話



### 特別寄稿

川柳  
がん講話終わり質問止まらない  
事件事故賞味期限の早まれり  
サツチャーが戻ったEJ離脱して  
苦節八年やっとならなかつたクリントン  
ひよっとしてランプ勝つか賭けようか  
(はこび)

### 5月16日(月)板付公民館

来館者22名、保健師池田晶子様から「胃がんにならないために」と題し講話して頂いた。



「甲状腺がん体験」を語る筑業会員

### 4月20日(木)今津公民館

来館者22名、保健師池田晶子様から「胃がんにならないために」と題し講話をしていただいた。



筑業会員のがん体験談

来館者7名、甲状腺がん体験談を筑業会員。寸劇「買い物編」を上演、公民館長さんに飛び入り出演して頂き来館者に好評を受けました。有難うございました。

### 6月24日(金)奈多公民館

## 「災害時における『要援護者』の見守りについて」

平穏無事、普段の家庭内の生活はひとりで動けても、共同生活場の避難所では手摺りの位置も平均線と個々に合わない。また、テレビの選択権もなく、情報がとれないなどストレスが溜まります。若く健康な方々にとっては何でもないことでも、体力的にギリギリの方にとっては大変な負担です。私達自身が、病気になり高熱を發した際はともしんどいと思います。「要援護者」の方々は災害時にこのような状態におかれています。双方向の助け合い。助けが必要な方は、遠慮なく意見を言って頂く、そして、お手伝いする方は、その声を聞き漏らすことなく対処しましょう。災害は、一時の災いです。お互いに助け合うことで苦難を乗り越えましょう。

日本に住む限り自然災害はまたやってくるでしょう。地震、台風、大雨の発生など先人は助け合いによって苦難を克服し私達の今日があります。私達世代も防災活動に努め不可能を可能にしましょう。

「日本防災士会・福岡県支部・事務局」 黒田(当会・会員)

「ご寄付のお願い」 NPO法人ストップ・ざ・がんの会は、がん検診の受診率向上を目指し啓発活動を行っています。活動にご賛同いただける方からのご寄付をお願い申し上げます。

1口千円(何口でも結構です)

振込先：ゆうちょ銀行・振替口座：記号01700-4

番号125067 加入者名・特定非営利活動法人ストップ・ざ・がんの会